

三河の昆虫

No. 29

1982年12月

〒444 岡崎市明大寺町
西郷中 生理学研究所
技術課内
三河昆虫研究会 発行
水谷印刷印刷
(05362) 3-1211(代)

愛知県におけるアオマツムシの分布

久 永 和 彦

1898年、東京都内ではじめて発見された帰化昆虫のアオマツムシ *Calyptotrypus hibinonis* Matsumura は、現在、太平洋岸の諸地域に広く生息し、西限は福岡県（福岡市）東限は茨城県（水戸市）とされている。

東海地方に定着した時期や侵入経路は不明であるが、発見の早い方からあげてみると愛知県（1950年頃）、三重県（1952年）、静岡県（1969年）、岐阜県（1979年）となり、愛知県、三重県はかなり以前から知られていたようである。

しかし、最近になって東海各県とも生息地域が急速に拡大しており、一部の地域では果樹への食害による被害も報告され、農業害虫としても注目されている。

そこで筆者は、1982年までの調査で判明しているアオマツムシの愛知県における分布状況をまとめた。なお、尾張地方の分布については一部の地域を除き、文献調査のみであることを付記しておく。

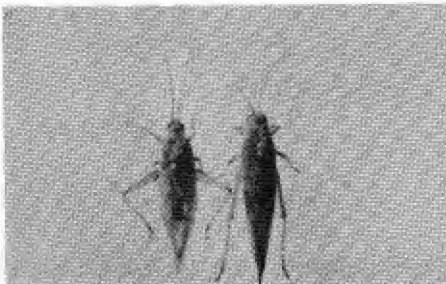


図1 アオマツムシの成虫（左雄、右雌）

●三河地方の分布状況

・西三河地方（岡崎、安城、豊田周辺）

この地方での最初の生息地として知られていたのは豊田市北部であるが、その時期についてははっきりしていない。侵入経路はおそらく名古屋市（東部）からと推定される。1978年頃から生息地が次第に拡大されて、1982年の調査では市街地を中心にかなり広い範囲に生息し、その生息密度も高くなっている。しかし、市の南部方面では不連続な分布が見られる。

岡崎市では1973年頃、岩津町ではじめて採集され、2年後には、岡崎市の中心部（康生町、能見町、岡崎公園、明大寺町）に分布を拡大し、1980年の調査では、市の東部丘陵地を除いた全市域の平地で見られるようになった。1982年の調査では、一部の個体が市街地から丘陵地に入り、次第に密度を高める傾向である。その反面、市街地での密度が最盛期と比べ、低下しており、草本植物の葉上に鳴く個体も現われている。

安城市では1979年、はじめて生息が確認されている。1979年～1982年の分布の年次変動を示すと図2のようになる。

1979年（図2-1）

最初に生息が確認された年で、市役所を中心に北部（国道一号線沿）と東南部に分散している。生息密度も低く、一本の街路樹（プラタナス）に数頭であった。（河野、東尾、住吉など）

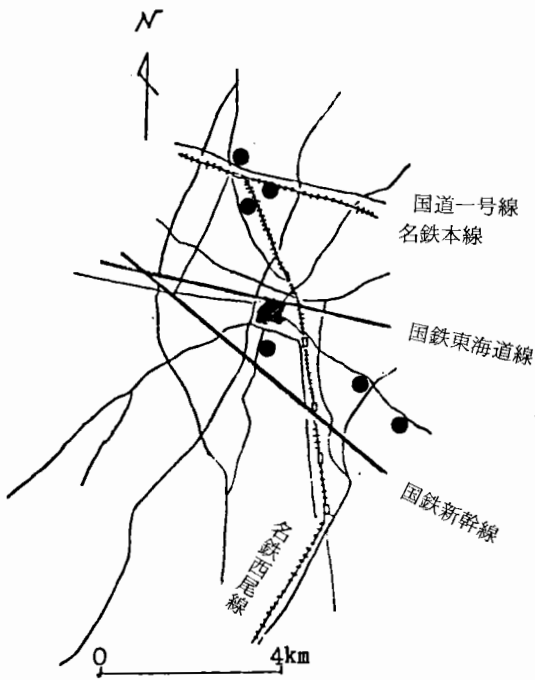


図2-1 安城市におけるアオマツシの分布 (1979年)

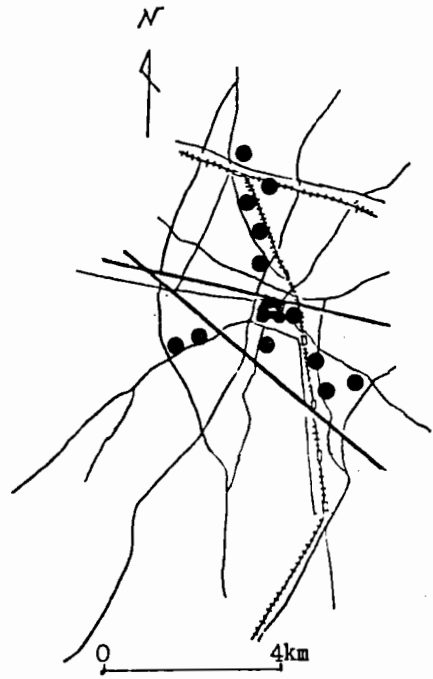


図2-2 安城市におけるアオマツシの分布 (1980年)

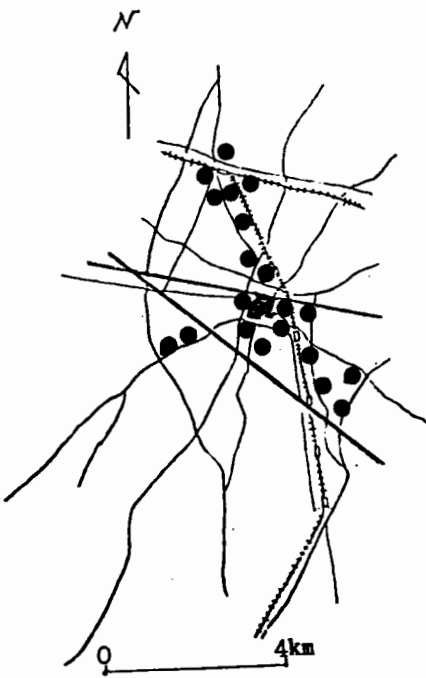


図2-3 安城市におけるアオマツシの分布 (1981年)

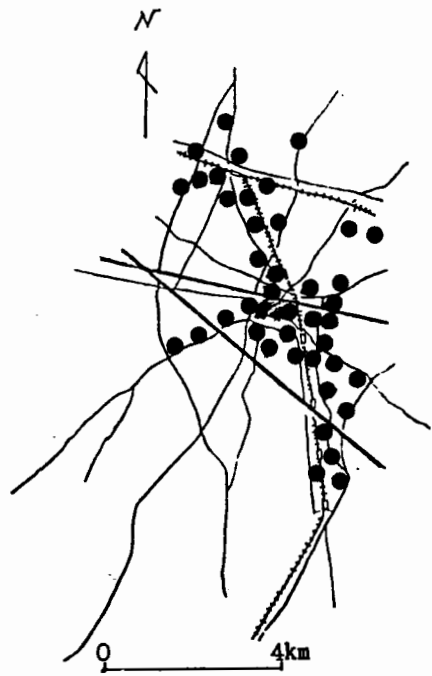


図2-4 安城市におけるアオマツシの分布 (1982年)

1980年(図2-2)

名鉄本線新城駅(旧今村駅)から名鉄西尾線に沿って带状に生息地域が拡大している。前年度より個体数も多くなり、街路樹のみでなく民家の樹木にも発生するようになった。

1981年(図2-3)

分布域は前年度と変化はないが、生息密度が高くなり、市の中心部で著しい。(池浦、弁天、桜町、御幸本町、花ノ木、明治本町、朝日など)

1982年(図2-4)

市役所の地点より約4km南へ分布域が広がり、名鉄西尾線桜井駅周辺が南限となっている。

しかし、その先(西尾方面)へは、道路に街路樹が少なく、西尾市への移動、定着は少し時間がかかるものと思われる。

市役所の西部(刈谷方面)へは今のところ、侵入していない。交通量は多いが、街路樹が少なく、しかも低木の生垣(マサキなど)が要因となっているようである。

・西三河地方の生息地(1982年現在)

東加茂郡(足助町)、西加茂郡(三好町)、豊田市(全域)、知立市(一部)、刈谷市(井ヶ谷町)、岡崎市(東部丘陵地除く)、安城市(南部、西部除く)、高浜市(高浜町)、西尾市(平原町)、額田郡(幸田町)、幡豆郡(幡豆町)

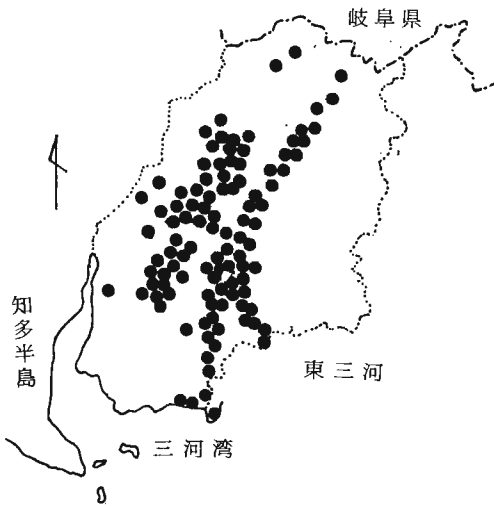


図3 西三河地方のアオマツムシの分布(1982年現在)

・東三河地方(蒲郡、豊川、豊橋方面)

この地方でアオマツムシがはじめて確認されたのは1978年(東名高速道路赤塚パーキングエリア)である。翌年、豊川市(為当町)で確認されているが、この方は、偶発的のようである。

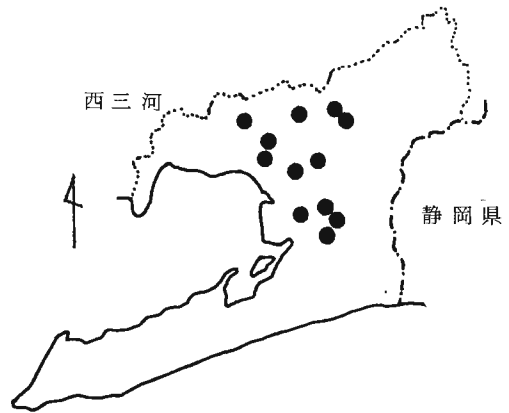


図4-1 東三河地方におけるアオマツムシの分布(1980年)

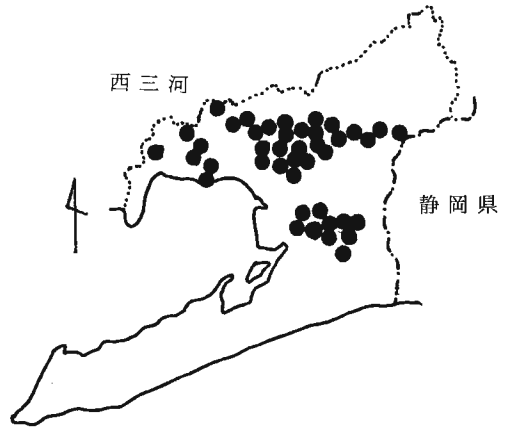


図4-2 東三河地方におけるアオマツムシの分布(1981年)

1980年になって、三河生物同好会の鈴木友之氏らの調査によって東三河での分布動向が明らかにされてきた。

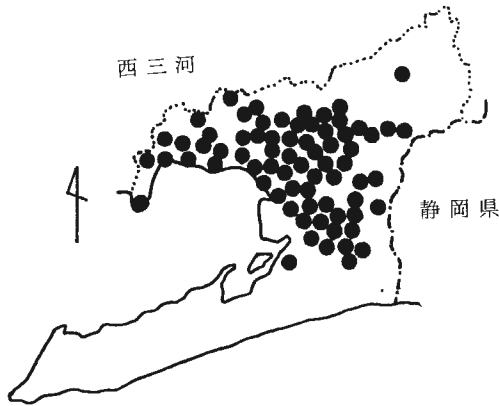


図4-3 東三河地方におけるアオマツムシの分布(1982年)

図に示されているように、1980年には、豊橋市、豊川市、宝飯郡(一宮町)などに広く生息していることがわかった。

1981年は、前年度生息が確認された地域以外に新たに蒲郡市、宝飯郡(音羽町、小坂井町)にも生息しており、東三河地方のかなり広い地域に分布していることが判明した。

生息分布の移動は、今のところ国道一号線と東名高速道路沿いを東上、また、国道248号と国道247号、国道23号の接点となる蒲郡市を起点に西側(247号)と東側(23号)へ拡大しているものと思われる。また、蒲郡市への侵入は、国道248号を岡崎、幸田町経由と一部は岡崎市本宿町の国道一号を鉢地坂峠を越して侵入しているようである。

1982年には東三河の西部、すなわち、西浦半島に侵入し、一部は西三河地域の幡豆郡幡豆町に達している。また、東部へは豊橋市の二川町まで生息が確認されており、東三河地方の東限となっている。東北部に位置する新城市は東新町で発見されており、東三河地方の北限となる。渥美郡の三町(田原、赤羽根、渥美)はいまのところ生息が確認されていない。

●尾張地方の分布状況

1982年までに生息が確認できた地域は次の通りである。(現認)

愛知郡(日進町、東郷町)、豊明市(上高根)稲沢市(重本町)、名古屋市(名古屋大学)。

また、文献によれば、春日井市(内津峠、日山町)、瀬戸市(雲興寺、定光寺、水北町、宮刈池、赤津町)、犬山市(愛岐丘陵、善師野、明治村)、愛知郡(長久手村、前熊)、名古屋市(東山公園、竜泉寺、石川橋付近)などが知られている。

以上、愛知県を三河(西三河、東三河)と尾張に分けて分布状況を概観してきたが、県全体の分布をまとめたものが図5である。

図に示されているように生息分布地域は愛知県のほぼ平野部(標高100m以内)全体に達している。岡崎平野、豊橋平野に位置する市街地は高密度に生息しており、さらに分布を拡大して行く傾向にある。この地域は人口が集中し、交通量も多い上に、街路樹が多く、民家にも樹木がよく保存されているので、アオマツムシの侵入と増殖に好適な環境となっているようである。

知多半島方面は生息していると思われるが、現時点では資料不足の地域となっている。渥美半島への侵入は当地方が園芸地帯であるだけにその動向には注意したいものである。

全国でも、アオマツムシの分布動向を調査しているのは、東海地方のみのようで、帰化昆虫の分布の拡大のメカニズムの解明に大きな手がかりが得られるものと期待されている。また、室内の飼育によると、脱皮回数や交尾器が中国産の種と異なるとも言われ、いろいろ興味ある問題を提起してくれる昆虫のようである。

最後にこの報告をまとめるにあたり、鈴木友之氏、長谷川重男氏、愛知大学の山下善平氏、石津明右氏にはいろいろ資料を提供していただき感謝する。

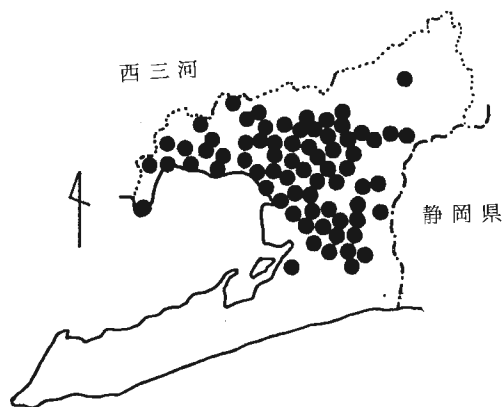


図4-3 東三河地方におけるアオマツムシの分布(1982年)

図に示されているように、1980年には、豊橋市、豊川市、宝飯郡(一宮町)などに広く生息していることがわかった。

1981年は、前年度生息が確認された地域以外に新たに蒲郡市、宝飯郡(音羽町、小坂井町)にも生息しており、東三河地方のかなり広い地域に分布していることが判明した。

生息分布の移動は、今のところ国道一号線と東名高速道路沿いを東上、また、国道248号と国道247号、国道23号の接点となる蒲郡市を起点に西側(247号)と東側(23号)へ拡大しているものと思われる。また、蒲郡市への侵入は、国道248号を岡崎、幸田町経由と一部は岡崎市本宿町の国道一号を鉢地坂峠を越して侵入しているようである。

1982年には東三河の西部、すなわち、西浦半島に侵入し、一部は西三河地域の幡豆郡幡豆町に達している。また、東部へは豊橋市の二川町まで生息が確認されており、東三河地方の東限となっている。東北部に位置する新城市は東新町で発見されており、東三河地方の北限となる。渥美郡の三町(田原、赤羽根、渥美)はいまのところ生息が確認されていない。

●尾張地方の分布状況

1982年までに生息が確認できた地域は次の通りである。(現認)

愛知郡(日進町、東郷町)、豊明市(上高根)稲沢市(重本町)、名古屋市(名古屋大学)。

また、文献によれば、春日井市(内津峠、日山町)、瀬戸市(雲興寺、定光寺、水北町、宮刈池、赤津町)、犬山市(愛岐丘陵、善師野、明治村)、愛知郡(長久手村、前熊)、名古屋市(東山公園、竜泉寺、石川橋付近)などが知られている。

以上、愛知県を三河(西三河、東三河)と尾張に分けて分布状況を概観してきたが、県全体の分布をまとめたものが図5である。

図に示されているように生息分布地域は愛知県のほぼ平野部(標高100m以内)全体に達している。岡崎平野、豊橋平野に位置する市街地は高密度に生息しており、さらに分布を拡大して行く傾向にある。この地域は人口が集中し、交通量も多い上に、街路樹が多く、民家にも樹木がよく保存されているので、アオマツムシの侵入と増殖に好適な環境となっているようである。

知多半島方面は生息していると思われるが、現時点では資料不足の地域となっている。渥美半島への侵入は当地方が園芸地帯であるだけにその動向には注意したいものである。

全国でも、アオマツムシの分布動向を調査しているのは、東海地方のみのもので、帰化昆虫の分布の拡大のメカニズムの解明に大きな手がかりが得られるものと期待されている。また、室内の飼育によると、脱皮回数や交尾器が中国産の種と異なるとも言われ、いろいろ興味ある問題を提起してくれる昆虫のようである。

最後にこの報告をまとめるにあたり、鈴木友之氏、長谷川重男氏、愛知大学の山下善平氏、石津明右氏にはいろいろ資料を提供していただき感謝する。

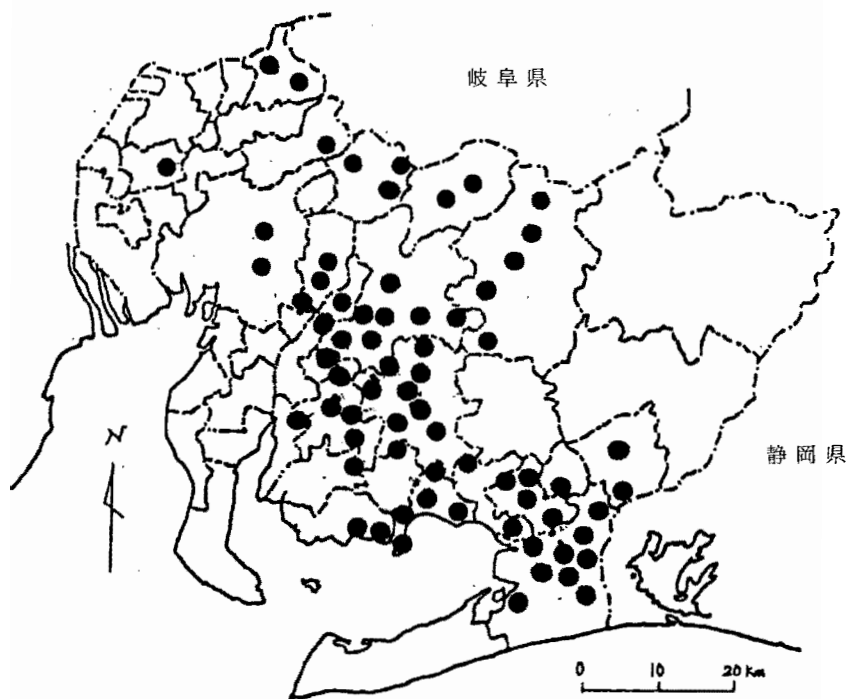


図5 愛知県におけるアオマツムシの分布 (1982年現在)

参考文献

- 1) 杉浦邦彦 (1980) 伊勢神宮内地とその周辺におけるアオマツムシの発生動向 (別刷)
- 2) 日本昆虫学会東海支部第29回大会、第90回例会資料; 1980
- 3) 高柳、鈴木、松野 (1980) 東三河におけるアオマツムシの分布について、虫譜VOL. 20 No.2
- 4) 環境庁編 (1980) 日本の重要な昆虫類 (東海版)
- 5) 鈴木友之 (1982) 私信 (東三河のアオマツムシの発生状況)
- 6) 中部直題談話会連絡紙 第20号、1981

豊川市平尾町における昆虫1 (カミキリムシ科)

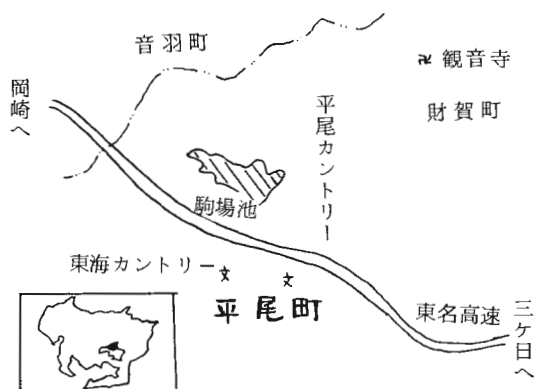
浅岡孝知

平尾町は次の図に位置し、採集地として知られる財賀寺(観音山)に隣接する。標高60～120m位で、植林された針葉樹林地帯であるが、一部ツブラジイも残されている箇所とクヌギ林がある。筆者は、本稿ではカミキリムシ科だけについて、ある程度まとまったので報告する。

採集方法は、叩き網、夜間採集を主に行なったもので、30種類のカミキリムシを採集することができた。以下は採集リスト。

1. クロカミキリ

Spondylis buprestoides Linne' 3EXS
21-VI, 82



〈豊川市平尾町の位置〉

2. サビカミキリ
Arhopalus rusticus Linné 1EX 21-VII, 82
3. クビアカドウガネハナカミキリ
Gaurotes atripennis Matsushita 1EX 26-V, 82
4. キバネニセハムシハナカミキリ
Lemula decipiens Bates 1EX 12-V, 82
5. ツヤケシハナカミキリ
Marthaleptura scotodes Bates 1EX 8-V, 82, 3EXS 21-V, 82
6. クロハナカミキリ
Leptura dimorpha Bates 2EXS 15-V, 82
7. キマダラカミキリ
Pseudaecolesthes chrysothrix Bates 1EX 21-VII, 82
8. ミヤマカミキリ
Mallambyx raddei Blessig 2EXS 21-VII, 82
9. カエデヒゲナガゴバネカミキリ
Molorchus ishiharai Ohbayashil 4EXS 28-V, 3EXS 2-VI, 1EX 5-VI, 82
10. ヒメスギカミキリ
Palaeocallidium rufipenne Motschulsky 1EX 8-V, 82
11. キスジトラカミキリ
Cyrtoclytus caproides Bates 1EX 21-V, 82
12. エグリトラカミキリ
Rhaphuma japonica Chevrolat 1EX 15-V, 19-V, 24-V, 4-VI, 3EXS 21-V, 82
13. ヒメクロトラカミキリ
Rhaphuma diminuta Bates 1EX 15-V, 5-VI, 82
14. ホタルカミキリ
Dere thoracica White 1EX 12-V, 21-V, 29-V, 82
15. ベニカミキリ
Purpuricenens temminckii Guérin-Méneville 1EX 16-V, 82
16. ゴマダラカミキリ
Anoplophora malasica Thomson 1EX 25-VII, 82
17. ヤハズカミキリ
Uraecha bimaculata Thomson 1EX 15-V, 2EXS 19-V, 82
18. カラフトヒゲナガカミキリ
Monochamus saltuarius Gebler 1EX 21-V, 82
19. ヒメビゲナガカミキリ
Monochamus subfasciatus Bates 1EX 19-V, 2EXS 21-V, 29-V, 82
20. ゴマフカミキリ
Mesosa japonica Bates 1EX 5-VI, 82
21. ワモンサビカミキリ
Pterolophia annulata Chevrolat 3EXS 2-VI, 82
22. アトジロサビカミキリ
Pterolophia zonata Bates 1EX 25-V, 29-V, 2EXS 5-VI, 82
23. アトモンサビカミキリ
Pterolophia rigida Bates 1EX 29-V, 82

24. ナカジロサビカミキリ
Pterolophia jugosa Bates 1EX
 5-VI, 82
25. マルモンサビカミキリ
Pterolophia angusta Bates 1EX
 21-V, 2-VI, 82
26. ニイジマチビカミキリ
Egesina bifasciana Matsushita 1EX
 25-V, 26-V, 2EXS 5-VI, 82
27. キクスイモドキカミキリ
Asaperde rufipes Bates 1EX 21-V
 2EXS 29-V, 5-VI, 82
28. ヒゲナガモモフトカミキリ
Acanthocinus griseus Fabricius 1EX
 21-VII, 82
29. アトモンマルケシカミキリ
Exocentrus lineatus Bates 1EX
 28-V, 2-VI, 5-VI, 82
30. シラオビゴマフケシカミキリ
Exocentrus guttulatus Bates 3EXS
 2-VI, 1EX 5-VI, 82

わずか3ヶ月の調査でしたが、以上のような結果であった。当地における資料は皆無であるが、隣の財賀町とあわせて豊川北部の調査が本格的に進められることを期待しています。

豊橋市東部丘陵初夏の甲虫

穂積俊文

1979年6月3日 1980年5月18日 1981年4月26日の3回、私は本坂峠、嵩山、石巻山の3ヶ所に採集を試みた。初夏の低山地の甲虫相の一つのモデルとして読んで戴ければ幸である。

ハンミョウ科

- 1) *Cicindela japonica* Thunberg
 石巻山 ハンミョウ

オサムシ科

- 2) *Carabus insulicola arrowianus*
 Breuning
 嵩山 ミカワオサムシ

ゴミムシ科

- 3) *Colpodes japonicus* Motschulsky
 石巻山 ハラアカモリヒラタゴミムシ

- 4) *Colpodes buchani* Hope
 本坂峠 オオアオモリヒラタゴミムシ

- 5) *Euplynes batesi* Harold
 本坂峠 石巻山 ベーツヒラタゴミムシ

- 6) *Dolichoctis striata* Schmidt-
 Goebel

嵩山 コヨツボシアトキリゴミムシ

- 7) *Coptoderina subapicalis* Putzeys

本坂峠 ハギモノコゴミムシ

- 8) *Lebia calycophora comitata* Bates

本坂峠 ヒメアトキリゴミムシ

デオキノコムシ科

- 9) *Scaphidium emarginatum* Lewis

本坂峠 エグリデオキノコムシ

ハネカクシ科

- 10) *Agelosus carinatus* Sharp

嵩山 オオアカバハネカクシ

コガネムシ科

- 11) *Nipponovalgus angusticollis*
 Waterhouse

嵩山 石巻山 ヒラタハナムグリ

ナガハナノミ科

- 12) *Epilichas flabellatus* Kiesenwe-
 tter

石巻山 エダヒゲナガハナノミ

タマムシ科

- 13) *Agrilus sospes* Lewis
石巻山 シロテンナガタマムシ
- 14) *Agrilus tibialis* Lewis
本坂峠 ホソアシナガタマムシ
- 15) *Trachys saundersi* Lewis
本坂峠 嵩山 ソーダースチビタマムシ
- 16) *Trachys robusta* Saunders
石巻山 サシゲチビタマムシ
- 17) *Trachys variolaris* Saunders
本坂峠 ダンダラチビタマムシ
- 18) *Anthaxia proteus* Saunders
本坂峠 ヒメヒラタタマムシ

コメツキムシ科

- 19) *Brachylacon microcephalus*
Motschulsky
本坂峠 シロオビチビサビキコリ
- 20) *Pectocera fortunei* Candèze
石巻山 ヒゲコメツキ
- 21) *Melanotus legatus* Candèze
石巻山 嵩山 クシコメツキ
- 22) *Melanotus erythropygus* Candèze
石巻山 コガタクシコメツキ
- 23) *Dolerosomus gracilis* Candèze
嵩山 キバネホソコメツキ
- 24) *Vuilletus viridis* Lewis
石巻山 ミドリヒメコメツキ
- 25) *Ampedus hypogastricus* Candèze
石巻山 アカハラクロコメツキ

ベニボタル科

- 26) *Plateros coracinus* Kiesenwetter
石巻山 クロハナボタル

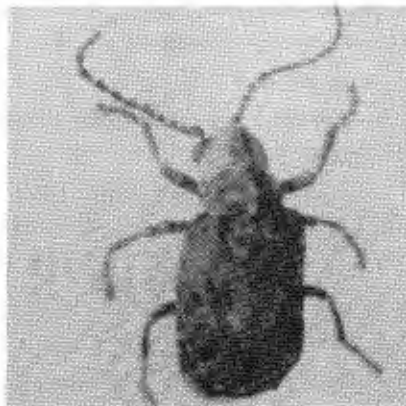
ジョウカイボン科

- 27) *Themus cyanipennis* Motschulsky
嵩山 アオジョウカイ
- 28) *Athemus suturellus* Motschulsky
本坂峠 ジョウカイボン
- 29) *Athemus vitellinus* Kiesenwetter
本坂峠 セボンジョウカイ
- 30) *Stenothemus badius* Kiesenwetter
本坂峠 クリイロジョウカイ

- 31) *Podabrus temporalis* Harold
石巻山 ウスイロクビボンジョウカイ
- 32) *Podabrus malthinoides* Kiesenwetter
石巻山 クロヒメクビボンジョウカイ
- 33) *Rhagonycha japonica* Kiesenwetter
石巻山 ヒメジョウカイ

シバンムシ科

- 34) *Anhedobia capucina* Reitter
本坂峠 石巻山 ヒメトサカシバンムシ



ジョウカイモドキ科

- 35) *Malachius prolongatus* Motschulsky
嵩山 ツマキアオジョウカイモドキ

ケキシスイ科

- 36) *Meligethes violaceus* Reitter
石巻山 キベリチビケキシスイ

コメツキモドキ科

- 37) *Languriomorpha nigratarsis*
Waterhouse
石巻山 クロアシコメツキモドキ

テントウムシ科

- 38) *Amida tricolor* Harold
嵩山 アミダテントウ
- 39) *Scymnus ishidai* M. Arai
本坂峠 嵩山 コクロヒメテントウ
- 40) *Scymnus contemtus* Weise
本坂峠 バイゼヒメテントウ
- 41) *Hyperaspis japonica* Crotch
嵩山 フタホシテントウ
- 42) *Chilocorus kuwanae* Silvestri
石巻山 ヒメアカボシテントウ

- 43) *Harmonia axyridis* Pallas
 嵩山 テントウムシ
- 44) *Coccinella septempunctata*
 Linné
 石巻山 ナナホシテントウ
- 45) *Illeis koebelei* Timberlake
 本坂峠 キイロテントウ
- テントウダマシ科
- 46) *Saula japonica* Gorham
 石巻山 キイロテントウダマシ
- 47) *Endomychus Gorhami* Lewis
 石巻山 ルリテントウダマシ
- 48) *Ectomychus basalis* Gorham
 石巻山 カタバネケブカテントウダマシ
- ゴミムシダマシ科
- 49) *Tarpela elegantula* Lewis
 本坂峠 ヒメマルクビゴミムシダマシ
- 50) *Strongylium impigrum* Lewis
 本坂峠 ヒメナガキマワリ
- 51) *Gnesis helopioides* Pascoe
 石巻山 ズビロキマワリモドキ
- ハムシダマシ科
- 52) *Luprops sinensis* Marseul
 本坂峠 ヒゲブトゴミムシダマシ
- クチキムシ科
- 53) *Allecula melanaria* Maeklin
 石巻山 クチキムシ
- 54) *Allecula bilamellata* Marseul
 本坂峠 ウスイロクチキムシ
- 55) *Hymenalia unicolor* Nakane
 本坂峠 ツヤバネヒメクチキムシ
- チビキカワムシ科
- 56) *Chilopeltis laevipenne* Marseul
 石巻山 ツヤチビキカワムシ
- ナグクチキムシ科
- 57) *Orchesia imitans* Lewis
 本坂峠 アカオビニセハナノミ
- 58) *Dasytes vulgaris* Nakane
 嵩山 石巻山 ケシジョウカイモドキ
- カミキリモドキ科
- 59) *Oedemeronia lucidicollis*
 Motschulsky

- 石巻山 本坂峠 モモブトカミキリモドキ
 アリモドキ科
- 60) *Pseudoleptaleus trigibber*
 Marseul
 石巻山 本坂峠 ミツヒダアリモドキ
- ニセクビボソムシ科
- 61) *Syzeton distortus* Champion
 石巻山 アシマガリニセクビボソムシ
- カミキリムシ科
- 62) *Lemula decipiens* Bates
 石巻山 キバネニセハムシハナカミキリ
- 63) *Anoplodera azumensis* Matsushita
 et Tamanuki
 石巻山 ミヤマルリハナカミキリ
- 64) *Marthaleptura Scotodes* Bates
 嵩山 ツヤケシハナカミキリ
- 65) *Aeolesthes chrysothrix* Bates
 本坂峠 キマダラヤマカミキリ
- 66) *Stenomalus cleroides* Bates
 石巻山 カッコウメダカカミキリ



- 67) *Chlorophorus japonicus* Chevrolat
 石巻山 エグリトラカミキリ
- 68) *Chlorophorus xeniscus* Bates
 石巻山 本坂峠 ホソトラカミキリ
- 69) *Palaeocallidium rufipenne*
 Motschulsky
 嵩山 ヒメスギカミキリ
- 70) *Dere thoracica* White
 本坂峠 ホタルカミキリ
- 71) *Microlera ptinoides* Bates
 本坂峠 嵩山 石巻山 ヒシカミキリ

- 72) *Asaperda rufipes* Bates
石巻山 キクスイモドキカミキリ
- 73) *Pterolophia zonata* Bates
石巻山 アトジロサビカミキリ
- 74) *Pterophia caudata* Bates
本坂峠 石巻山 トガリシロオビサビカミキリ
- 75) *Egesina bifasciana* Matsushita
本坂峠 石巻山 ニイジマチビカミキリ
- 76) *Uraecha bimaculata* Thomson
本坂峠 ヤハズカミキリ
- 77) *Monochamus subfasciatus*
石巻山 ヒメヒゲナガカミキリ
- 78) *Phopaloscelis unifasciatus*
Blessig
本坂峠 ヒトオビアラゲカミキリ
- 79) *Paraglenea fortunei* Saunders
本坂峠 ラミーカミキリ

ハムシ科

- 80) *Lema cirsicola* Chûjô
本坂峠 ルリクビボソハムシ
- 81) *Lema honorata* Baly
本坂峠 ヤマイモハムシ
- 82) *Smaragdina nipponensis* Chûjô
嵩山 石巻山 キイロナガツツハムシ



- 83) *Cryptocephalus signaticeps* Baly
本坂峠 クロボシツツハムシ
- 84) *Oomorphoides cupreatus* Baly
本坂峠 ドウガネツヤハムシ
- 85) *Oomorphoides nigrocoeruleum*
Baly
本坂峠 アオグロツヤハムシ

- 86) *Pagria signata* Motschulsky
本坂峠 ヒメキバネサルハムシ
- 87) *Acrothinium gaschkevitchii*
Motschulsky
石巻山 嵩山 アカガネサルハムシ
- 88) *Trichochrysea japana* Motschulsky
本坂峠 トビサルハムシ
- 89) *Demotina fasciculata* Baly
石巻山 本坂峠 マダラカサハラハムシ
- 90) *Gonioctena rubripennis* Baly
石巻山 フジハムシ
- 91) *Tricholochmaea semifulva* Jacoby
本坂峠 アカタデハムシ
- 92) *Pyrhalta esakii* Kimoto
石巻山 ブチヒゲウスバハムシ
- 93) *Paridea angulicollis*
Motschulsky
本坂峠 アトボシハムシ
- 94) *Calomicrus cyaneus* Jacoby
本坂峠 ハラグロヒメハムシ
- 95) *Luperomorpha funesta* Baly
本坂峠 クワノミハムシ
- 96) *Aphthona strigosa* Baly
本坂峠 サメハダツブノミハムシ
- 97) *Aphthona perminuta* Baly
嵩山 ツブノミハムシ
- 98) *Hemipyxis flavipennis* Baly
嵩山 本坂峠 キバネマルノミハムシ
- 99) *Psylliodes attenuata* Koch
嵩山 アサトビハムシ
- 100) *Cassida piperata* Hope
本坂峠 ヒメカメノコハムシ

ヒゲナガゾウムシ科

- 101) *Uneifer truncatus* Sharp?
石巻山
- 102) *Phloeobius gibbosus* Roelofs
本坂峠 セマルヒゲナガゾウムシ
- 103) *Autotropis distinguendus* Sharp
石巻山 スネアカヒゲナガゾウムシ

オトシブミ科

- 104) *Deporaus unicolor* Roelofs
石巻山 本坂峠 コナライクビチョツキリ

- 105) *Byctiscus fausti* Sharp
石巻山 ファウストハマキチョツキリ
- 106) *Euops splendida* Voss
石巻山 カシルリオトシブミ
- 107) *Euops punctatostriata*
Motschulsky
本坂峠 ルリオトシブミ
- 108) *Apoderus jekelii* Roelofs
本坂峠 オトシブミ
- 109) *Apoderus balteatus* Roelofs
本坂峠 ウスモンオトシブミ
- 110) *Apoderus erythrogaster*
Vollenhoven
本坂峠 ヒメクロオトシブミ
- 111) *Cycnotrachelus nitens* Roelofs
本坂峠 ハギツルクビナガオトシブミ
- 112) *Paratrachelophorus longicornis*
Roelofs
石巻山 ヒゲナガオトシブミ
- ホソクチゾウム科
- 113) *Apion pallidirostre* Roelofs
本坂峠 アカクチホソクチゾウムシ
- 114) *Apion praecarium* Faust
本坂峠 ヒメケバカホソクチゾウムシ
- 115) *Myllocerus griseus* Roelofs
本坂峠 石巻山 カシワクチブトゾウムシ
- 116) *Myllocerus fumosus* Faust
石巻山 ケバクチブトゾウムシ
- 117) *Amystax fasciatus* Roelofs
本坂峠 オビモンヒョウタンゾウムシ
- 118) *Eugnathus distinctus* Roelofs
嵩山 石巻山 コフキゾウムシ
- 119) *Mecyslobus erro pascoe*
石巻山 ホホジロアシナガゾウムシ
- 120) *Hylobius elongatus* Roelofs
本坂峠 ホソアナアキゾウムシ
- 121) *Acicnemis dorsonigrita* Voss
石巻山 アトジロカレキゾウムシ
- 122) *Catagmatus japonicus* Roelofs
本坂峠 クロクチカクシゾウムシ
- 123) *Orochlesis takaosanus* Kôno
嵩山 本坂峠 石巻山
タカオマルクチカクシゾウムシ
- 124) *Ceuthorrhynchijius hypocnata*
Hustache
嵩山 キイチゴトゲサルゾウムシ
- 125) *Anthonomus bisignifer*
Schenkling
本坂峠 イチゴハナゾウムシ
- 126) *Curculio convexus* Roelofs
石巻山 セダカシギゾウムシ
- 127) *Rhynchaenus takabayashii* Kôno
本坂峠 タカバヤシノミゾウムシ



三河地方でタガメ採集

浅岡孝知

筆者は環境庁が生息確認を進めている重要昆虫—タガメ— (*Lethocerus doyrollei* Vuillefroy) を下記の地域で採集確認した。タガメは県内各地に普通に産したが、現在では産地が局地化している。三河地方では最近の記録がないようなので報告する。採集品はいずれも

水田地帯の緩流部である。

〈採集記録〉

1. 豊川市平尾町地内
1982年7月20日
1頭

採集、所蔵は筆者

2. 新城市黒田地内

1982年7月30日

3頭 (内2頭はニンフ)

採集者は中川淳氏、所蔵は筆者

その他平尾町周辺の小幡町、御油町、音羽町の萩地区に未確認ですが、情報があり確認が急

がれます。尚、未筆ながら本稿を発表するに当って、心よくご協力下さいました新城市富岡字半原田八の二 新城市養護老人ホームの中川淳氏にお礼を申し上げます。

額田町における
アオカミキリの記録

村 田 文 彦

三河地方では記録の少ないアオカミキリ *Chelidonium quadricozze* BATES の額田町で採集された個体を検することができたので報告しておく。

1 ex, 愛知県額田郡額田町極山, 28.VI.1981, 伴 憲隆採集

未筆ながら貴重な標本を恵与された伴 憲隆氏に対し厚くお礼申し上げます。

クモノスモンサビカミキリ
を豊根村で採集

太 田 佳 伸

筆者は愛知県下ではあまり記録がないと思われる本種 (*Graphidessa venata* BATES) を、枯枝のピーティングで採集したので報告する。

(採集地) 北設楽郡豊根村林道豊富線

(採集日) 1981年10月10日

(頭 数) 1EX

未筆ながら、発表をすすめられた白井勝己氏に厚くお礼申し上げます。

アオカミキリを
豊川市で採集

太 田 佳 伸

愛知県下では記録の少ない、本種 (*Chelidonium quadricolle* BATES) を採集しているのを報告しておきたい。

(採集地) 豊川市財賀町

(採集日) 1981年7月10日

(頭 数) 1EX

(採集者) 太田昌孝

なお、末尾ながらご教示いただいた村田文彦氏に心から感謝申し上げます。

原稿募集中……短報は、はがきでも構い

ません。投稿は

〒444 岡崎市明大寺町西郷中

生物学研究所、技術課内

三河昆虫研究会へ

岡崎市のカミキリムシ(第2報)

村田文彦

昨年(1980年)に引き続き岡崎市内のカミキリムシを調べてみたが、なかなか忙がしくほとんど調査にも行けなかった。

それでも追加記録できた種だけは発表しておく。

ハナカミキリ亜科 Lepturinae

11. キバネニセハムシハナカミキリ

Lemula decipiens BATES

19. IV 1 EX. 大幡町

4. V 2 EXS. 保母町

先の記録はモミジの花で、後の記録はコバノガマズミの花から、共にスィーピングして採集。

12. セスジヒメハナカミキリ

Pidonia amentata (BATES)

18. IV 1♂ 生平町

カエデの花のスィーピングで採集。

クロカミキリ亜科 Spondylinae

13. ケブカヒラタカミキリ

Nothorhina punctata (FABRICI)

US)

15. IX 16 EXS. 明大寺町

本種は昨年、白井勝己氏によって県下未記録種として報告されたが、岡崎市内からはまだ記録がなく、今回が初めてのものであり、筆者はアカマツの樹皮に薬品を掛けて採集をした。

カミキリ亜科 Cerambycinae

14. シロオビチビヒラタカミキリ

Phymatodes albicinctus BATES

4. V 1 EX. 保母町

ブドウ類の枯れづるのピーティングで採集。

フトカミキリ亜科 Lamiinae

15. ヒシカミキリ

Microlera ptinoides BATES

10. V 3 EXS. 保母町

フジの枯れづるのピーティングで採集。

16. クワサビカミキリ

Mesosella simiola BATES

10. V 1 EX. 保母町

前種と同様にして採集。

注) それぞれの番号は、第1報につづいた。

訂正のお願い

本紙28号(通頁)119. トゲフタオタマムシの採集月日、1981年4月15日が、1981年5月10日の誤りでした。恐縮ですが、訂正下さるようお願いいたします。(太田佳伸)